

これからも
続けたいです。



新野 孝一 さん

ボランティア

白鷹の未来を彩る

… 蚕桑の歴史を子供たちに …

子供たちに蚕の飼育を伝える先生にお話を伺いました。

どんな活動ですか

蚕桑小学校では蚕の飼育をしていて、繭(まわ)がき(繭の収穫)まで体験します。私は仲間と一緒にそのお手伝いをしています。

指導のほかに桑園の剪定や管理などもしているので、1年間で30回ほど活動していると思います。

活動のきっかけ
平成14年度に、なぜ



「蚕桑」という学校名なのか思い出してほしい」と当時の校長先生の考えから蚕の飼育が始まり、蚕の飼育指導機関、養蚕農家がボランティアで協力することになりました。その活動が今まで続いています。

とはいえ続けるのが大変になり、もうやめようかと話をしていたら、平成26年度(第2回)蚕系絹文化学習教育奨励賞(一財・大日本蚕糸会)受賞という栄誉を頂きまして、このタイミングでやめるのはちょっと…となり今に至っています(笑)

仲間について
当初は8人で活動を始めました。平成25年から6人に減り厳しい状態だったのですが、昨年从今年にかけて2人の若手女性が仲間になりました。

以前からの仲間も高齢になっていきますので、養蚕文化そのものの継承ができると思います。



これからの夢
要請がある限りは活動を続けたいですね。若手の仲間にしつかりと養蚕文化を伝えられたいと思います。

議会へひとこと
上杉鷹山公が推奨していた品目の一つが養蚕で、置賜地域に桑の木が配られました。そのうち3本が今も残っています。長井市、米沢市、そして蚕桑山口地区にあります。

長井市の木は指定文化財になっていますが、米沢市の木は残念ながら確認できなくなりました。



白鷹町の木は地域有志が看板を立て保存活動に取り組んでいます。

地域の歴史や文化がしっかりと継承されるよう、議会で見守ってください。

編集後記

令和という新しい時代が幕を開け、白鷹町議会も新たな体制になりました。スタートを切りまし

同時に広報委員も新人議員を中心に構成され、新鮮な息吹にあふれています。

横山編集長を中心に

いかにわかりやすく町民の皆様には議会の内容をお伝えできるか、手に取ってお読みいただけるかを考えながら作らせていただきました。

これまで皆様からお寄せいただいたご意見やご感想を参考に、より良い紙面になるように努力してまいりますので、尚一層のご指導をお願いいたします。

(笹原)

広報委員

- 委員長 笹原 俊一
- 副委員長・編集長 横山 和浩
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 金田 悟
- 印刷・長谷川印刷

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

